



アルフレッサ ホールディングス株式会社

Fresh life for all.

すべての人に、いきいきとした生活を。

株主のみなさまへ

2017年3月期報告書

(2016年4月～2017年3月)

証券コード 2784

TOP MESSAGE



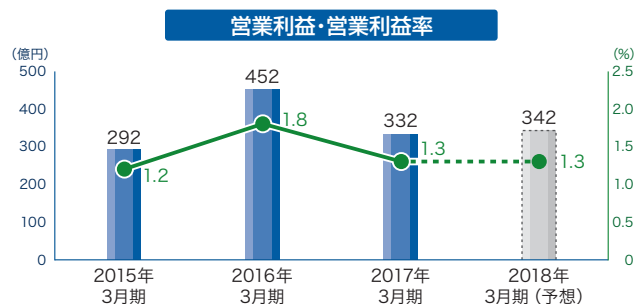
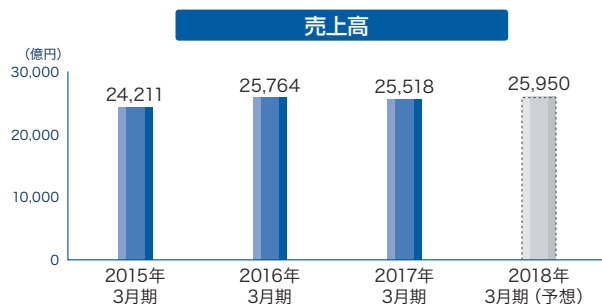
株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。

2017年3月期における事業の状況と、
今後の見通しについてご説明いたします。

代表取締役社長

久保泰三

連結業績ハイライト





2017年3月期の事業環境と業績について教えてください。

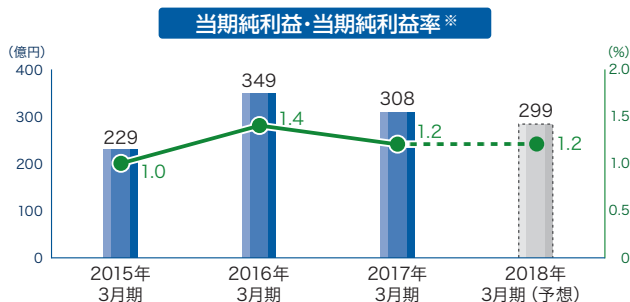
当連結会計年度の国内景気は、海外経済や金融資本市場の変動リスクはあるものの、雇用情勢・所得環境等の改善が続くなか、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で医療用医薬品市場は、2016年4月の市場拡大再算定の特例を含む薬価引き下げ、後発医薬品への切り替えに伴う長期収載品の減少、およびC型肝炎治療薬の需要の一巡等の影響を受け、全体としては前期比3.8%減とマイナス成長になりました(クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推定)。

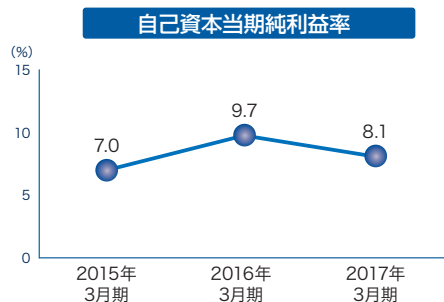
このような環境のなか、医療用医薬品等卸売

事業は、医療用医薬品市場のマイナス成長の影響等を受けて前期比で減収となり、セルフメディケーション卸売事業、医薬品等製造事業は増収増益となりましたが、連結全体では減収減益となりました。

当連結会計年度の業績につきましては、売上高は2兆5,518億1百万円(前期比1.0%減)、営業利益は332億28百万円(同26.6%減)、経常利益は436億28百万円(同21.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は308億93百万円(同11.7%減)となりました。



※ 当期純利益(率)は、親会社株主に帰属する当期純利益(率)を掲載しております。





事業別の業績と取り組みについて教えてください。

医療用医薬品等卸売事業におきましては、当期は医療用医薬品市場環境の影響を受け減収となりましたが、16-18中期経営計画の重点施策として掲げた「営業改革・物流改革の推進」「グループ全体最適の追求」および業界共通の最重要課題である「流通改革の推進」に取り組み、医療用医薬品No.1卸として今後の環境変化に先駆けた事業基盤のさらなる強化を進めました。グループ会社の事業統合を進め、経営資源を有効かつ効率的に活用することにより、地域に密着し

た営業基盤の強化を図るとともに、物流面では、2015年に稼働した大阪物流センターに続き、2016年5月に京都医薬品センターを稼働し、多くの医療機関が集まる大阪、京都の中心部における物流拠点を整備いたしました。また成長分野においては、医療機器・診断薬等の医療関連商品への取り組みを強化したほか、スペシャリティ医薬品流通において全国有数のカバー率を実現し、対応力を強化いたしました。

セルフメディケーション卸売事業におきまして

事業別の業績

医療用医薬品等卸売事業

売上高

22,514 億円

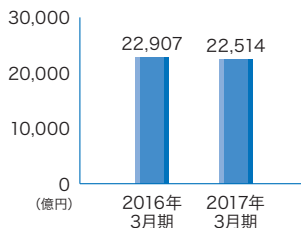
(前期比 **98.3%**)

営業利益

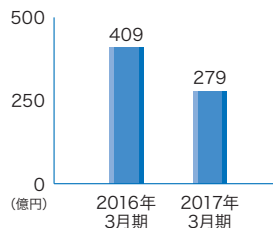
279 億円

(前期比 **68.1%**)

■ 売上高



■ 営業利益



セルフメディケーション卸売事業

売上高

2,513 億円

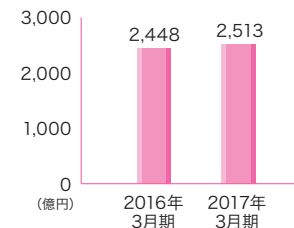
(前期比 **102.6%**)

営業利益

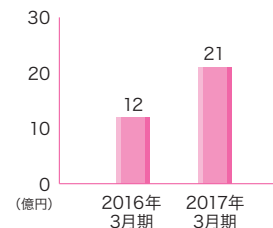
21 億円

(前期比 **166.0%**)

■ 売上高



■ 営業利益



は、16-18中期経営計画の重点施策として掲げた「さらなる事業基盤の強化」「付加価値営業の強化」に取り組みました。全社で推進している物流改革によるコスト削減を徹底したほか、お客様に新たな付加価値を提案するソリューション型商談会の開催や、利益率の高い専売商品の拡充を進めました。当期は当社グループのシェアの上昇等もあり、安定的な利益を確保することができました。

医薬品等製造事業におきましては、16-18中期経営計画の重点施策として掲げた「製造受託・医薬品原薬事業の推進」「製品ラインナップの拡充と販売力強化」「海外事業の拡充」に取り組みました。2016年4月、製造受託事業を行うサン

ノーバ株式会社を当社の連結子会社とし、当社グループ全体で製造受託の新規契約獲得への取り組みを強化するとともに、原価低減を推進いたしました。医薬品原薬事業では、新規の生産設備の導入や新製品の開発に努めました。

医療関連事業の調剤薬局事業子会社におきましては、2016年4月の薬価改定および調剤報酬改定による影響等があり、厳しい状況となりました。こうしたなか、16-18中期経営計画の重点施策として掲げた「業態変化への取り組み」として、かかりつけ薬局対応を進めたほか、付加価値の向上や業務効率の改善を目的として、グループ内の連携を推進いたしました。

医薬品等製造事業

売上高

414 億円

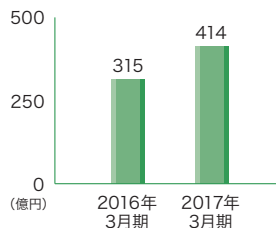
(前期比 **131.3** %)

営業利益

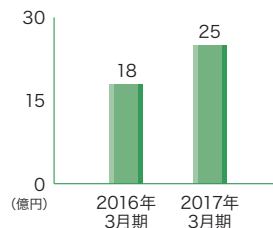
25 億円

(前期比 **144.0** %)

■ 売上高



■ 営業利益



医療関連事業

売上高

302 億円

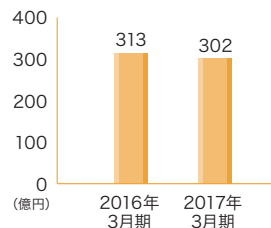
(前期比 **96.6** %)

営業利益

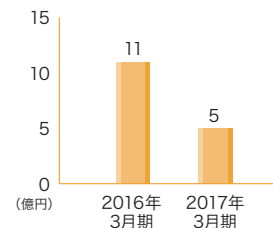
5 億円

(前期比 **47.9** %)

■ 売上高



■ 営業利益





来期の事業環境と取り組みについて教えてください。

来期は、16-18中期経営計画の2年目になりますが、引き続きグループ経営方針(Challenge3)に掲げた「グループ一体となった事業強化」「健康・医療関連領域の拡充」「環境変化に先駆けた事業モデルの変革」と、セグメント別の重点施策の取り組みを徹底してまいります。

医療用医薬品等卸売事業におきましては、2025年の医療・介護サービスの将来像に向けた地域医療構想がまとめられるなか、地域包括ケアシステムの進展により、各自治体の医療・介護機能の供給体制が変化していくことが予想されています。医療用医薬品No.1卸として、こうした環境変化に先駆けた事業基盤のさらなる強化を進めてまいります。

セルフメディケーション卸売事業におきまして

は、安定的な利益の確保に加えて、当社グループの医療用医薬品卸売事業子会社との連携により、ドラッグストア・調剤薬局等のお得意様のニーズの変化へよりの確に対応していくとともに、成長領域であるネット販売への対応力も高めてまいります。

医薬品等製造事業におきましては、医薬品・診断薬・医療機器・医薬品原薬の製造から製造受託、輸出まで幅広い事業基盤をより一層強化し、当社グループの成長戦略を引き続き牽引してまいります。

医療関連事業におきましては、調剤薬局事業の事業基盤を強化する取り組みをさらに徹底してまいります。



株主のみなさまへメッセージをお願いします。

日本の医療制度は2025年に向けて大きな変革期に入っており、当社を取り巻く環境は、今後大きく変化することが予想されます。16-18中期経営計画を確実に実行するとともに、アルフレッ

サグループのさらなる成長と企業価値の向上に努めてまいります。株主のみなさまにはなお一層のご理解とご支援をお願いいたします。

TOPICS

中国に手術用縫合糸の新工場棟を竣工

アルフレッサ ファーマ株式会社は、2016年11月に子会社の青島耐絲克医材有限公司の敷地内に新工場棟を竣工いたしました。青島耐絲克医材有限公司は1996年から医療機器(手術用縫合糸)の製造販売を行っておりますが、新工場棟の稼働により、伸長している中国市場でのさらなる販売拡大を目指します。

「全自動便尿分析装置AA01」を共同販売

アルフレッサ ファーマ株式会社とアークレイ株式会社は、2017年4月に「全自動便尿分析装置AA01」および便尿検査試薬の共同販売を開始いたしました。AA01は便潜血検査に強みのあるアルフレッサ ファーマ株式会社が、尿検査に強みのあるアークレイ株式会社と共同開発した、便検体と尿検体の両方の検査が1台で行える小型自動分析装置です。今後も多様なニーズに対応できる医薬品、医療機器等を提供してまいります。

「ライフサポートフェア」を開催

アルフレッサ ヘルスケア株式会社は、2017年2月に、東京と大阪で、「ライフサポートフェア」を開催し、過去最高の2,675人のお得意様にご来場いただきました。今年は、主に「メタボ対策」「フレイル(虚弱)対策」「感染症対策」「40代後半女性の悩み対策」をテーマに、棚割や売り場提案などを行いました。また医学博士の南雲吉則氏の特別講演も開催し、大盛況に終わりました。



連結財務諸表(概要)

連結貸借対照表

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

科 目	前 期 2016年3月31日現在	当 期 2017年3月31日現在
資産の部		
流動資産	965,135	962,872
現金及び預金	118,174	164,430
受取手形及び売掛金	612,182	601,962
有価証券	42,000	4,000
たな卸資産	133,270	132,103
その他	59,507	60,376
固定資産	288,359	293,049
有形固定資産	130,489	133,196
建物及び構築物	50,133	51,359
土地	64,727	64,577
その他	15,628	17,259
無形固定資産	14,952	13,800
のれん	7,337	6,308
その他	7,615	7,492
投資その他の資産	142,917	146,052
投資有価証券	125,409	128,720
その他	17,507	17,332
資産合計	1,253,494	1,255,922

科 目	前 期 2016年3月31日現在	当 期 2017年3月31日現在
負債の部		
流動負債	835,512	814,576
支払手形及び買掛金	795,006	784,538
短期借入金	679	549
その他	39,826	29,488
固定負債	49,254	47,795
長期借入金	1,309	1,286
退職給付に係る負債	17,762	14,731
その他	30,181	31,776
負債合計	884,766	862,372
純資産の部		
株主資本	311,342	333,486
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	103,121	101,936
利益剰余金	205,784	229,115
自己株式	△16,017	△16,020
その他の包括利益累計額	55,199	58,847
その他有価証券評価差額金	59,546	62,479
繰延ヘッジ損益	△13	△3
土地再評価差額金	△4,143	△3,948
為替換算調整勘定	175	114
退職給付に係る調整累計額	△364	205
非支配株主持分	2,185	1,215
純資産合計	368,727	393,550
負債純資産合計	1,253,494	1,255,922

連結損益計算書

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

科 目	前 期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで	当 期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで
売上高	2,576,405	2,551,801
売上原価	2,379,210	2,369,236
売上総利益	197,194	182,565
販売費及び一般管理費	151,905	149,336
営業利益	45,289	33,228
営業外収益	10,944	10,912
営業外費用	744	512
経常利益	55,489	43,628
特別利益	519	3,627
特別損失	1,913	2,571
税金等調整前当期純利益	54,094	44,684
法人税、住民税及び事業税	18,572	12,705
法人税等調整額	141	896
法人税等合計	18,714	13,602
当期純利益	35,380	31,082
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純利益	34,975	30,893
非支配株主に帰属する当期純利益	405	188

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

科 目	前 期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで	当 期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,836	34,342
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,245	△13,409
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,996	△11,807
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	△32
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,422	9,092
現金及び現金同等物の期首残高	160,265	158,462
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,618	—
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	—
現金及び現金同等物の期末残高	158,462	167,554

株式情報 (2017年3月31日現在)

株式の概況

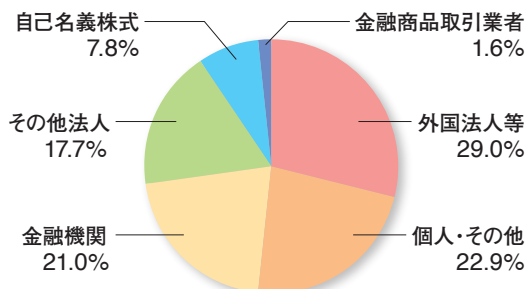
発行可能株式総数	540,000,000株
発行済株式総数	235,017,600株
株主数	11,082名

大株主

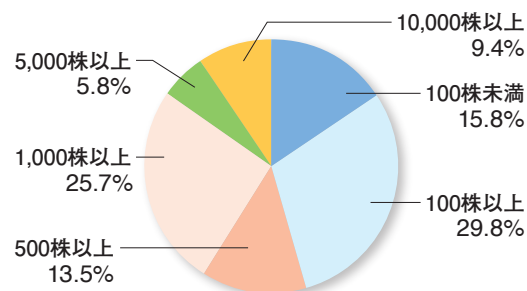
順位	氏名または名称	所有株式数 (千株)	議決権比率 (%)
1	アルフレッサ ホールディングス株式会社	18,339	—
2	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,860	3.6
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,760	3.1
4	アルフレッサ ホールディングス社員持株会	5,974	2.8
5	エーザイ株式会社	4,602	2.1
6	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	4,289	2.0
7	みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 第一三共口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	3,908	1.8
8	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	3,775	1.7
9	第一三共株式会社	3,202	1.5
10	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	3,194	1.5

※所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。

所有者別株式分布状況



所有株式数別株主分布状況



配当について

配当につきましては、連結業績を基準に、財務体質の強化や経営基盤の安定性および将来の事業展開等を総合的に考慮し、連結純資産配当率(DOE)※2%以上を基本方針としております。

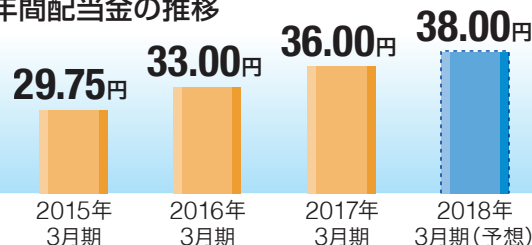
2017年3月期の期末配当金は19円とし、中間配当金17円と合わせて年間配当金36円といたしました。2018年3月期配当につきましては、中間配当金19円、期末配当金19円とし、年間配当金38円を予定しております。

※純資産配当率 (Dividend On Equity)

配当金総額を純資産で除した数値で、株主からの出資金や事業を通じて得た利益の蓄積である純資産という「元手」に対し、どれだけの金額を配当という形で株主に還元しているかをみる経営指標です。純資産配当率は、当期純利益※を純資産で除した「自己資本当期純利益率※」と、配当金総額を当期純利益※で除した「配当性向」を掛けて算出することもできます。(この計算における純資産とは、貸借対照表の純資産の部より非支配株主持分を除いたものです。)

※当期純利益(率)は、親会社株主に帰属する当期純利益(率)を掲載しております。

年間配当金の推移



※過去に遡って株式分割を反映した配当金を記載しております。

会社概要

(2017年3月31日現在)

会社名 アルフレッサ ホールディングス株式会社
(Alfresa Holdings Corporation)

本社所在地 〒100-0004
東京都千代田区大手町一丁目1番3号

従業員数 11,825名(連結)

設立年月日 2003年9月29日

事業の内容 医薬品、医療用検査試薬、医療機器・
用具の卸販売、製造販売、輸出入等
ならびに調剤薬局の経営とこれらに
附帯する事業を行う子会社の管理等

資本金 18,454百万円

取締役および監査役(2017年6月27日現在)

代表取締役会長	石黒 傳六
代表取締役副会長	鹿目 広行
代表取締役社長	久保 泰三
取締役	三宅 俊一 (副社長)
取締役	増永 孝一 (副社長)
取締役	泉 康樹 (専務執行役員)
取締役	荒川 隆治 (常務執行役員)
取締役	勝木 尚
取締役(社外取締役)	寺井 公子
取締役(社外取締役)	八剣 洋一郎
取締役(社外取締役)	金野 志保
常勤監査役	桑山 賢治
監査役(社外監査役)	野口 祐嗣
監査役(社外監査役)	神垣 清水
監査役(社外監査役)	加藤 善孝

グループ会社

医療用医薬品等卸売事業

- アルフレッサ株式会社
- 四国アルフレッサ株式会社
- ティーエスアルフレッサ株式会社
- 明祥株式会社
- 株式会社小田島
- 株式会社琉薬
- 株式会社恒和薬品
- アルフレッサ メディカルサービス株式会社

セルフメディケーション卸売事業

- アルフレッサ ヘルスケア株式会社
- 株式会社茂木薬品商会

医薬品等製造事業

- アルフレッサ ファーマ株式会社
- 青島耐絲克医材有限公司
- アルフレッサ ファインケミカル株式会社
- サンノーバ株式会社

医療関連事業

- アポロメディカルホールディングス株式会社
- 株式会社日本アポック

情報システムの運用・保守および開発事業

- アルフレッサ システム株式会社

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同お問い合わせ先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	日本経済新聞

株主のみなさまからの声をお待ちしております。

当社では、株主のみなさまからのご意見・ご要望をお受けしております。

ご意見・ご要望がございましたら、お電話やおハガキ、またはeメール(ir@alfresa.com)でお気軽にお寄せください。当報告書に関するご意見もお待ちしております。

アルフレッサ ホールディングス株式会社 財務企画部 広報IR室
〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号 大手センタービル23階
TEL:03-5219-5102 FAX:03-5219-5103



本誌は、FSC®認証紙と、植物性インキを使用しています。

株式に関する手続き

単元未満株式の買増・買取、住所変更などの各種お手続きについて

原則として、株主さまが口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）において承ることとなっております。当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

■ 単元未満株式の買増・買取制度について

当社では、1単元（100株）未満の株式をご所有の株主さまに対し、ご所有の単元未満株式とあわせて1単元となる数の株式を当社からご購入いただく「単元未満株式買増制度」、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく「単元未満株式買取制度」を実施しております。

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて

当社株主名簿管理人である、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

■ 特別口座について

証券会社等の口座に入庫されていない株券につきましては、当社が開設した「特別口座」において管理されています。「特別口座」では譲与・譲渡のお手続きができませんので、売買するには証券会社に同一名義の口座を開設し、株式振替を行うお手続きが必要となります。

未受領の配当金のお支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店においてお取り扱いいたします。

配当金に関するお知らせについて

当社では、郵便ハガキによる「期末配当金に関するお知らせ（中間配当金の支払に関する取締役会決議ご通知）」の送付を廃止いたしました。当社ホームページへの掲載によりご案内しております。

ホームページ <http://www.alfresa.com/>